



NetSupport School

Getting Started Guide

著作権 (C) 2018
NetSupport Ltd
無断転載を禁ず

目次

定義	4
インストール - windows	4
システム条件	5
インストールを開始する	7
NetSupport ライセンス使用許諾	8
ライセンス情報.....	8
セットアップの種類を選択.....	9
カスタムインストール	10
部屋の確認	13
プログラムのインストール.....	13
インストール完了	13
既にインストールされています	14
ネットワークインストールを作成する	15
サイレントインストール	16
インストール設定オプションダイアログ	17
NetSupport School デプロイ – NetSupport School	
リモートインストールツール	18
デプロイツールをインストールする.....	19
Windows XPに配布をする	20
NetSupport School を起動する - Windows	21
NetSupport School 先生アシスタントのインストールと構成設定	23
NetSupport School Windows 10先生アプリ	26
Google ChromeでNetSupport Schoolを インストールおよび構成する.....	27
Androidタブレット用NetSupport School の生徒のインストールと構成.....	31
iOS用NetSupport School 生徒のインストールと設定	33



S

ご意見・ご感想 35

定義

生徒に画面を見せたり、生徒の画面を表示 / 制御するパソコンを、先生コンソールまたはコントロールと言います。

先生の画面を見たり、自分の画面を先生に見てもらったり、制御されたりするパソコンを、生徒機またはクライアントと言います。

インストール - WINDOWS

NetSupport School は、手順に従って操作するだけで、簡単にインストールでき、すぐにお使いいただくことができます。

インストールする機能を決定します

先生としてクラスを管理したい場合は、お使いのコンピュータ(コントロール)をインストールする必要があります。

接続したい各生徒機に、生徒(クライアント)をインストールする必要があります。

技術者が、技術サポートを提供しながら学校のネットワークを管理そして維持できるようにするには、技術者のコンソールをインストールすることができます。

注意： NetSupport School 先生 はTCP/IP を使用するように設定されています。

生徒(クライアント)に接続するための推奨方法

部屋モードは、与えられた部屋のクライアントに接続するための迅速かつ簡単な方法です。スタートアップウィザードは、特定の部屋にマシンを割り当てることができ、授業開始時に先生は単に接続したい事前に定義した部屋を示します。「ローミング」の生徒は指定の部屋に接続するオプションもあります。

部屋の設定は、NetSupport School生徒構成設定の生徒で設定することができます。

先生が生徒に接続する他の方法は検索モード、PCモードまたはユーザーモードを経由します。



これで、NetSupport Schoolの先生と生徒のプログラムをインストールする準備が整いました。

システム条件

一部のNetSupport Schoolの機能は特定のファイルやアプリケーションの状態に依存します。NetSupport School のインストール前に、これらが利用可能な状態であるかどうか確認してください。

全般

Internet Explorer 8かそれ以降のバージョン。

Windows XP (SP3)、2003 (SP2)、Vista、2008、Windows 7、Windows 8/8.1 および Windows 10.

生徒のみ：空き容量50Mバイト

先生だけのインストール用の空きディスク容量140Mバイト

IT技術者のインストール用の空きディスク容量100Mバイト

フルインストール：空き容量160Mバイト

TCP/IP.

NetSupport Schoolはターミナルサーバー、ゼロ/シンクライアント、仮想デスクトップそして共有リソースコンピューティング環境で動作しGoogle Chromebooks および Android tabletsでサポートされています。

Tutor Assistant app はsupported on 9またはそれ以降が動作するiOSデバイス、Android 2.3またはそれ以降に対応しています。

Windows 10デバイスでサポートされているネイティブの先生アプリ。

Android用NetSupport School 生徒 app はsupported on 4.0またはそれ以降が動作するAndroidタブレット。

iOS用生徒アプリはバージョン6以降が動作しているiOSデバイスに対応しています。

NetSupport School 先生コンソールは1024 x 768またはそれ以上の画面解像度がが必要です。

タッチ対応サポート

Windows 7またはそれ以降が実行されているNetSupport School先生。

Windows 8/8.1またはWindows 101が実行されているNetSupport School生徒。

テストデザイナー

テストデザイナーは、MDAC 2.1かそれ以降のバージョン、およびCOMCTL32.dll version 5.80 かそれ以降のバージョンが必要です。NetSupport School のインストール中に、これらのファイルが存在するかどうか確認します。存在しない場合は報告します。デプロイ機能でサイレントインストールした場合、ファイルが存在しなくても報告しません。

注意 : 先生PCに送信されるプリンタ通知を有効にするため、インストーラーによって生徒PCに次の変更が適用されます ;

Windows ファイアウォール

インストール時にアクティブネットワークに対して製品が使用できるようにWindowsファイアウォールのエントリが自動的に追加されます。別のネットワークに変更する場合は、Windowsファイアウォールを通過して接続できるようにWindowsファイアウォールのエントリの範囲を拡張する必要があります。

Windows XP SP3 と Windows Vista

では、[ファイルとプリンタの共有の例外を許可する]が有効になります。

Windows XP SP3ではTCP 139

ポートのスコープが"Subnet" から"Any"に変更されます。

ローカルセキュリティ ポリシー設定

Windows Vista (またはそれ以降)の接続しているPCのワークグループでは、次のローカルポリシー設定が設定されます ;

ネットワークアクセス :

匿名の SID と名前の変換を許可する 有効

ネットワークアクセス : 無効



SAM アカウントの匿名の列挙を許可しない	
ネットワークアクセス :	
SAM アカウントおよび共有の匿名の列挙を許可しない	無効
ネットワークアクセス :	
everyone のアクセス許可を匿名ユーザーに適用する	有効
ネットワークアクセス :	
名前付きパイプと共有への匿名アクセスを制限する	無効

インストールを開始する

また、www.netsupportschool.com/downloads.asp から NetSupport Schoolをダウンロードすることができます。

メニューより該当する言語をクリックし、NetSupport Schoolをインストールするためのオプションを選択します。

使用するインストーラーをsetup.exeまたは MSI ファイルのどちらか選択します（Active Directoryデプロイのみ）。

注意： Active Directoryによるインストールの詳細については、サポートエリア (www.netsupportsoftware.com/support) から、テクニカルドキュメント542を参照してください。

Active Directoryにデプロイを実行する必要がある場合は、MSI ファイルを使ってインストールしてください。

NetSupport School インストーラーはようこそ画面を表示し始めます。続けるには[次へ] をクリックします。

注意：

- Windowsオペレーティングシステムをアップグレードしている場合は、アップグレードを行う前に必ずNetSupport Schoolを一度アンインストールしてください。OSのアップグ

ロード完了後に、NetSupport Schoolを再度インストールしなおしてください。

- インストールするときは、管理者権限でログインしていることを確認してください。
- Windows 7、Windows 2008 Server R2、Windows 8、Windows 2012にNetSupport Schoolをインストールするときに、必要なサービスパックや修正プログラムが無い場合は、フィルタドライバがインストールされていない可能性があります。フィルタドライバなしで NetSupport School のインストールを続行できますが、FTPのブロックやサーバーサーチ等を含む一部のインターネット制御機能が使用できなくなります。

詳細については、テクニカルサポートチームにお問い合わせください。（英語対応）

www.netsupportsoftware.com/support

NetSupport ライセンス使用許諾

NetSupport Schoolの使用許諾契約書が表示されますライセンス使用許諾書をよく注意してお読みください。続行するには、[次へ]をクリックします。

使用許諾契約書に同意しない場合は、[ライセンス使用許諾書に同意しない]を選択して、[キャンセル]をクリックしてください。NetSupport School はインストールされません。画面の指示に従い、インストールプログラムを終了してください。

ライセンス情報

登録を選択し、提供されたNetSupport Schoolのライセンス詳細を入力します。NetSupport Schoolを試用する場合は30日間体験版を選択します。

使用したいライセンスの種類を選択します。

すべてのプラットフォーム

生徒は、すべてWindowsベースまたはWindows、Chromebooksそしてタブレットの混在を使用している。

Chrome 生徒のみ

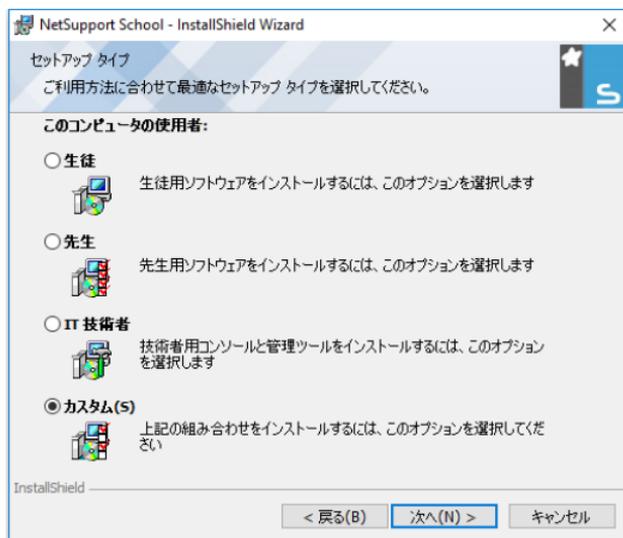
生徒は、すべてGoogle Chromebooksを使用している

タブレット生徒のみ

生徒は、すべてタブレットを使用している。

セットアップの種類を選択

コンピュータにインストールするセットアップの種類を選択します。



生徒

生徒用のソフトウェアをインストールします。この機能(クライアント)は、リモートコントロールされるワークステーション/デバイスにインストールする必要があります。

先生コンソール

先生用のソフトウェアをインストールします。このコンポーネントはコントロールともいい、他のパソコンをリモートコントロールする側のパソコンで使用します。

IT 技術者

テックコンソールをインストールします。このコンポーネントはコンピュータを管理、メンテナンスするワークステーションにインストールしてください。

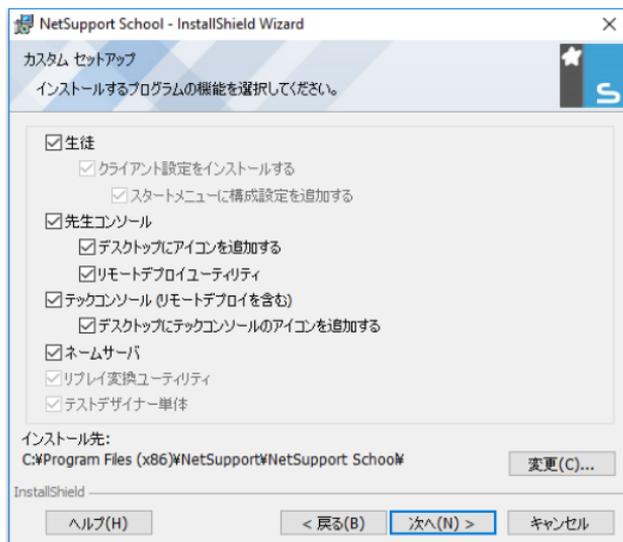
カスタム

コンピュータにインストールする機能を自由に選択できます。

[次へ] をクリックし、選択されたセットアップの種類をインストールします。カスタムを選択している場合は、カスタムインストール画面が表示されます。

カスタムインストール

コンピュータにインストールするプログラムを選択します。



生徒

クライアントとも呼ばれるこのプログラムをインストールするとコンピュータはリモートコントロールされます。このプログラムをインストールすることで、先生は生徒と接続を確立することができます。生徒が使用できる機能は、先生とコミュニケーションをするための機能に限定されています。例えば、ヘルプの送信など。

クライアント設定をインストールする

NetSupport School クライアント設定は、各コンピュータの生徒プログラムの設定をカスタマイズする時に使用します。例えば、使用するプロトコルを選択する、生徒名を割り当てる、セキュリティを設定するなど。

生徒用のプログラムを選択した場合も、クライアント設定のインストールするオプションがあります。

設定プログラムのインストールを希望しない場合は、このボックスのチェックを外してください。その場合でもインストールの最終段階で、クライアント設定が起動し生徒のコンピュータの設定することができます。

スタートメニューにクライアント設定のアイコンを追加する

生徒のコンピュータのスタートメニューにクライアント設定のショートカットを作成するかどうかを選択します。生徒のコンピュータにこのコンポーネントをインストールする利点は、今後の設定変更が簡単なことです。欠点は、生徒達がオプションのアクセスや変更が可能になってしまうことです。

注意： 先生用のプログラムをインストールすると、初期設定でクライアント設定も同時にインストールされます。

先生コンソール

別名コントロールともいう、このプログラムは他のコンピュータをリモートコントロールするコンピュータにインストールします。先生は、生徒の画面を見たり、自分の画面を生徒に見せるといった NetSupport School の様々な機能にアクセス可能になります。

このプログラムをインストールすると、ポータブル先生コンソールフォルダも同時にインストールします。USB ドライブ、メモリスティック、フラッシュドライブといったポータブルデバイスから先生を起動することができます。

詳細は、英国 NetSupport School 社のホームページ

www.netsupportsoftware.com/supportよりテクニカルドキュメント Running NetSupport School Tutor from a Portable Device (TD496) を参照してください。

注意： 先生の画面を生徒に見せる機能 [ショー] を使用するには、先生のコンピュータに生徒用のプログラムをインストールする必要があります。

デスクトップにアイコンを追加する

先生用のプログラムを簡単に起動できるように、デスクトップにコントロール（先生コンソール）アイコンを作成するかどうかを選択できます。

リモートデプロイ

リモートデプロイは、その場にながら、複数のコンピュータに NetSupport School のインストールが可能になります。

テックコンソール

このプログラムはコンピュータを管理またはメンテナンスするコンピュータにインストールしてください。コンピュータ教室の担当技術者やネットワーク管理者が主な NetSupport School の機能を使用できるように になります。

ネームサーバ

生徒のコンピュータのロケーションと接続を簡単に信頼性の高い方法を提供します。

リプレイ変換ユーティリティ

このユーティリティはリプレイファイルをビデオファイルに変換することができます。

注意：これは先生またはテックコンソールコンポーネントをインストールしている場合、デフォルトでインストールされます。

テストデザイナー単体

テストデザイナーを使えば画像、音声、動画形式で出題できるテストをカスタマイズ作成できます。

注意：先生コンソールをインストールすると、初期設定でテストデザイナーも同時にインストールされます。

インストール先：

初期設定では、次のフォルダに NetSupport School がインストールされます。C:\Program Files\NetSupport\NetSupport School別のフォルダにインストールしたい場合は、[変更]をクリックします。

準備ができたなら、[次へ]をクリックしてください。

部屋の確認

接続したい部屋の値を入力します。既定値では、Eval が部屋の値です。部屋の値は、あとで 先生の環境設定 の設定で変更することができます。

続行するには、[次へ] をクリックします。

プログラムのインストール

インストールを開始するには、[インストール] をクリックします。インストールの設定を確認または変更するには、[戻る] をクリックします。インストールを中止するには、[キャンセル] をクリックします。

注意: クライアント(生徒)を選択した場合は、Windows の初期化時にクライアントが起動するように System.INI を変更します。NetSupport School は、その他のドライバを置き換えることはありません。

インストール完了

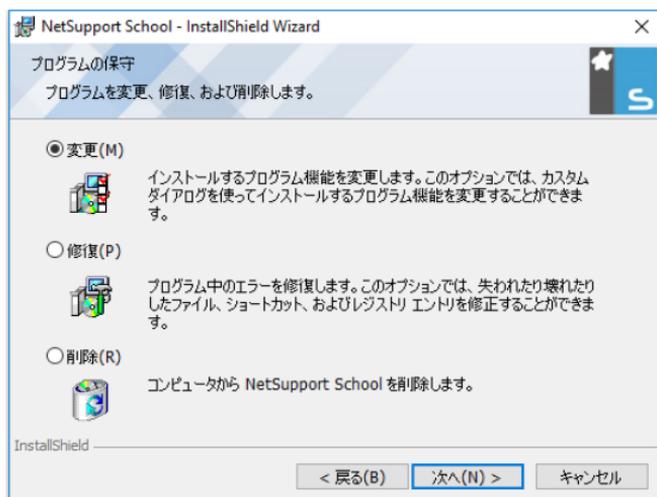
インストールを完了するには：

- クライアント構成設定を起動するか選んでください。クライアント情報やセキュリティの基本設定が行えます。
- リモートデプロイ機能を実行するか選択します。複数のワークステーションにNetSupport Schoolのインストールと設定を行うことができます。

[完了] をクリックしてセットアッププログラムを終了してください。

既にインストールされています

コンピュータに NetSupport School が既にインストールされている場合は、この画面が表示されます。



- **変更**
インストール済みのプログラムを変更します。
- **修復**
プログラム内のインストールエラーを修復します。
- **削除**
コンピュータから NetSupport School を削除します。

どれか一つを選択して、[次へ]をクリックします。

ネットワークインストールを作成する

管理者がネットワーク接続された多くのパソコンに NetSupport School をインストールする際に、インストールメディアやライセンスの詳細などを持ち運ばなくても、NetSupport School の配布用コピーを使用すれば、いつでも短時間でインストールすることができます。

配布用コピーにセットアップ項目などをあらかじめ設定しておけば、すべてのコンピュータにNetSupport School を全く同じ設定で確実にインストールできます。

作成した配布用コピーを使って、通常のインストールを行うことも、サイレントインストールを行うことも、リモートデプロイの一部として使用することもできます。

サーバに NetSupport School の配布用のコピーを用意するには

1. インストール予定のすべてのコンピュータがアクセスできるネットワークにフォルダを作成します。
2. メディアから SETUP.EXE をコピーします。
3. 有効な NSM.LIC ファイルを作成して、このフォルダにコピーします。インストールの実行時に、フォルダにライセンスファイルが存在しない場合は、体験版ライセンスでNetSupport Schoolをインストールします。
4. CLIENT32U.INI ファイルを作成して、このフォルダにコピーします。

注意: 設定情報が誤って書き換えられないように、ネットワークフォルダを [読み取り専用] に変更してください。

サーバから NetSupport School を個々のコンピュータにインストールするには

1. インストール予定のコンピュータで NetSupport School のセットアップファイルがあるネットワークフォルダを開きます。
2. Setup.exe を実行します。
3. 本マニュアルの「インストールを開始する」の説明に従ってください。

サイレントインストール

サイレントインストールとは、ユーザーの入力を一切必要とせずに行うインストール方法です。

サイレントでインストールするには

1. NetSupport School インストールファイルが含まれた NetSupport School の配布用コピーを作成します。
2. インストールのプロパティを決定するには、 コマンドラインで NetSupport School プログラムフォルダからINSTCFG.EXE /Sを実行 します。
インストール設定オプションダイアログが表示 されます。デフォルト名NSS.iniというパラメータファイルに選 択したプロパティが保存されています。
4. {ファイル} {保存} を選択してNetSupport Schoolの配布コ ピーが存在するフォルダ に'NSS.ini'ファイルを保存します。
5. 選択したコンピュータでサイレントインストールを実行するには 、配布コピーのあるフォルダから:

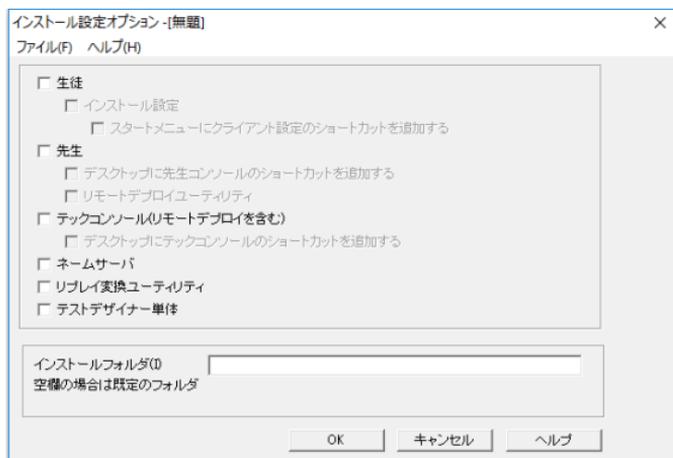
```
msiexec /i "NetSupport School.msi" /qn (MSI インスト  
ーラー)
```

```
setup /S /v/qn (setup.exe インストーラー)
```

注意： NetSupport Schoolがアクティブデレトリ経由でイ
ンストールされます。ソフトウェアインストールグループポ
リシーオブジェクト(GPO)がユーザーではなくむしろコンピ
ューターアカウントを含むオーガナイゼーショナルユニット
に適用されなくてはなりません。ソフトウェアのインストール
をすぐに有効にするためには、ソフトウェアのインストール
対象のコンピューターを制御するComputer
Configuration| Administrative Templates| System|
Logon| leaf of the group policy内の「Always wait for
the network at computer startup and
logon」パラメーターを有効にする必要があるのでご注意く
ださい。この変更は、適用したWindows XPのログイン時間
に影響します。この変更がない場合、ログオフ/ログオンサ
イクルの追加がインストールに影響するために必要になりま
す。

インストール設定オプションダイアログ

サイレントインストールの実行やNetSupport School デプロイの使用は、個々の条件に合うようにインストールをカスタマイズ可能です。サイレントインストールの場合はNetSupport School プログラムフォルダから INSTCFG.EXE /Sを実行、もしくは NetSupport School デプロイの倍ア はインストールプロパティの一般タブからアクセス可能なこのダイアログは、インストール用の値を指定することができます。情報はパラメータファイルに保存されます。初期設定のファイル名は、“NSS.ini”です。



アイコン

関連するボックスにチェックをして、どのNetSupport School コンポーネントをクライアントのコンピュータにインストールするか指定します。

一般

インストールフォルダ

NetSupport Schoolのインストール先フォルダを指定します。何も入力しない場合は、デフォルトのフォルダ\Program Files\NetSupport\ NetSupport Schoolにインストールします。

NetSupport School デプロイ – NetSupport School リモートイン ストールツール

NetSupport School デプロイは、その場にいながら離れた複数のコンピュータに NetSupport Schoolのインストールと設定ができる機能です。

NetSupport Schoolのデプロイユーティリティ内で、IPアドレス範囲（指定したIP範囲、コントロールにローカルIP範囲があるコンピュータ）、Windowsドメインを使用してデプロイする機能があります。またはネットワークの表示が提供されます。これらの方法は、デプロイ先のコンピュータを選択できます。

NetSupport School デプロイでできること:

- 複数のコンピュータにNetSupport School パッケージをリモートで一斉インストール。
- 複数のコンピュータに特定のクライアント設定を作成して配布。
- 複数のコンピュータのNetSupport School ライセンス情報を更新。
- 複数のコンピュータの NetSupport School パッケージをリモート アンで一斉にインストール。

注意:

- ドメインに参加しているWindows Vista 搭載コンピュータに対してデプロイを実行する場合は、コンソールユーザーがドメインにログオンもしくは対象のコンピュータのローカルアドミニストレータ権のあるドメインアカウントがなくてはなりません。
 - デプロイプロンプトユーザーオプションは、Windows Vista以降ではサポートされません。
-



デプロイツールをインストールする

デプロイユーティリティのインストール NetSupport School をインストールする際、コンポーネントの構成を決めてください。

NetSupport Schoolのデプロイは、現在、次のオペレーティングシステムでサポートされています：

- Windows XP
- Windows 2003
- Windows Vista
- Windows Server 2008\2008r2
- Windows 7
- Windows 8/8.1
- Windows Server 2012
- Windows 10

配布プラン

NetSupport School デプロイ は複数のワークステーションへ NetSupport School パッケージのインストールをスピーディかつ簡単にする強力なユーティリティです。本ソフトウェアをご使用になる上で、制約や互換性上の問題がないよう最善を尽くしておりますが、他のアプリケーションとの競合がないことを確認するために、まず小グループのワークステーションを対象にお試しいただくことをお勧めします。セキュリティと保護のために、デプロイ を実行するユーザーはデプロイ先のワークステーションの管理者権限をもっている必要があります。

Windows XPに配布をする

Windows XP プロフェッショナルにNetSupport Schoolをデプロイするには、デプロイするパッケージを転送するためにリモートコンピュータのAdmin\$ shareにアクセスしなくてはなりません。デフォルトではAdmin\$ shareへのアクセス許可はありません。

ネットワークアクセスを有効にするには:

1. 管理ツールで [ローカルセキュリティポリシー] を選択します。
2. {セキュリティ設定} {ローカルポリシー} {セキュリティオプション} を選択します。
3. {ネットワークアクセス：ローカルアカウントの共有とセキュリティモデル} を選択します。
4. {クラシック – ローカルユーザー権限} にこのポリシーを設定します。

Admin\$Share が有効になり、通常通りにデプロイを行うことができます。

NETSUPPORT SCHOOL を起動する - WINDOWS

NetSupport School生徒のプログラムは、インストールしておけば、Windowsの起動時に自動的に起動します。

NetSupport School 先生のプログラムを起動するには、[スタート]メニューから[プログラム] [NetSupport School] [NetSupport School 先生コンソール]の順にクリックするか、[NetSupport School] プログラムグループにある [NetSupport School 先生コンソール] のアイコンをダブルクリックします。

注意: Windows 8では、先生とテックコンソールアイコンだけがスタート画面に表示されます。右クリックして画面下部のすべてのアプリを選択することで、他のNetSupport Schoolコンポーネントにアクセスできます。他のNetSupport Schoolコンポーネントをスタート画面に表示させたい場合は、項目を右クリックして「スタート画面に表示する」を選択します。

NetSupport School を起動すると、ようこそウィザードが表示されます。そこから、教室をクリックすると現在の教室内の新しいコンピュータに生徒用ソフトウェアを配布できます。ネットワーク越しに生徒用ソフトウェアを配布する、または上級オプションが必要な場合は、[ネットワーク] をクリックします。先生プログラムだけを開始するには、[開始] をクリックするとクラスウィザードが表示されます。

クラスウィザードは授業の一般的なプロパティを入力したり、生徒の場所と接続方法の選択をすることができます。様々な接続方法を使用して複数のクラスを作成することができます。必要なクラスは授業開始時に読み込むことができ、生徒のマシンに素早く接続することができます。

先生プログラムを起動すると、NetSupport Schoolは指定した生徒をネットワーク検索します。検索中は検索メッセージが表示されます。警告アイコンは、接続できないコンピュータを強調します。接続が失敗した理由を表示するにはマウスをアイコンの上に重ねます。

生徒機が検索されて接続されると、先生コンソールのメインウィンドウが開き、接続された生徒のアイコンが表示されます。

注意： インストール中に「Chrome生徒のみ」または「タブレット生徒のみ」のライセンスの種類を選択した場合、NetSupport School先生コンソールはこれらの生徒用に利用可能な機能を反映します。

標準ビューで現在のクラスの授業の詳細を入力または変更することができます。このペインは  ボタンをクリックして最小化することができます。

注意： テックコンソールが先生のワークステーションに自動的に接続しないようにするには、先生コンソールにNetSupport School クライアントがインストールされていることを確認し、クライアント設定で[ユーザー確認オプションを有効にする]を設定してください。接続開始前に必ず接続確認が必要になります。

NETSUPPORT SCHOOL 先生アシスタントのインストールと構成設定

既存のNetSupport Schoolで管理された教室環境での使用に、NetSupport School先生アシスタントはICTスイートでの先生の機動性を提供し、補助教員が生徒の進行具合を監視を支援できるようにするための理想的なツールです。

NetSupport School Tutor Assistantは、iPad、iPhone、iTouch、Kindle Fire、Android携帯電話そしてAndoridタブレットで動作し、アップルストア、Androidアプリストア、Google Playから無料で入手可能です。

ステージ 1 – NetSupport School 先生アシスタントに接続するために NetSupport School先生を設定する

開始時のNetSupport School 先生アシスタント接続を設定します。ここから先生アシスタントからの接続を認証するためのパスワードを設定できます。Tutor Assistantの構成設定にアクセスするには:

1. コントロールウィンドウのドロップダウンメニューから [表示] [現在の設定 - 先生アシスタント] を選びます。
2. 先生アシスタント構成設定ダイアログが表示されます。
3. 先生アシスタントで表示されるNetSupport School先生の名前を入力します。
4. 接続認証用の接続ポートとパスワードを入力します。
5. 先生アシスタントを自動的に認証または手動で認証するか決定します。
6. OKをクリックします。

ステージ 2 – NetSupport School 先生アシスタントをインストールする

1. [アップルApp](#)ストアまたは[Amazon App](#)ストアまたは [Google Play](#)ストアからNetSupport School先生アシスタントをダウンロードします。
2. ホームページ上のアシスタントアイコンをタップします。
3. 接続したいNetSupport School先生コンソールのIPアドレスを入力します。
4. パスワードを入力します。これはNetSupport School先生コンソールで設定します。
5. デフォルトのポートは37777です。これは変更可能ですが、NetSupport School先生で変更する必要もあります。

注意： NetSupport School先生アシスタントからの最初の接続を認証するには、NetSupport School先生が必要になります。

先生アシスタントサービスが開始され、接続が許可されると、先生アシスタントツールバーアイコンが  に変化します。

タブレットでサポートされている機能：

- Support for Android and iPad tablets.
- 生徒の縮小画面を表示。
- 設定されているメッセージを生徒に送信。
- 制限されたウェブサイトをブロック。
- 許可されたウェブサイトを設定。
- すべてのインターネットのアクセスをブロック。
- 生徒のコンピュータをロック/ロック解除。
- 生徒のコンピュータをログオフ。
- 生徒の画面をブランク/非ブランク化。
- 生徒の印刷を制限。
- 許可されたアプリケーションを設定。
- 制限されたアプリケーションをブロック。
- 生徒のグループを選択。
- 詳細表示。
- 生徒のヘルプ依頼通知を表示。
- 生徒を拡大。
- 名前/先生順に生徒を並べ替え。
- 現在のアプリケーションを表示。
- 現在のウェブサイトを表示。
- 接続パスワードを設定。
- 現在接続している先生アシスタント数をバッジで表示。

スマートフォンでサポートされている機能：

- AndroidおよびアップルiOSスマートフォンをサポート。
- 設定されたメッセージを生徒に送信。
- 制限されたウェブサイトブロック。
- 許可されたウェブサイトを設定。
- すべてのインターネットのアクセスをブロック。
- 生徒のコンピュータをロック/ロック解除。
- 生徒のコンピュータをログオフ。
- 生徒の画面をブランク/非ブランク化。
- 生徒の印刷を制限。
- 許可されたアプリケーションを設定。
- 制限されたアプリケーションをブロック。
- 接続パスワードを設定。

NETSUPPORT SCHOOL WINDOWS 10先生アプリ

Windows用デスクトップ先生アプリケーションに加えて、ネイティブなTeacherアプリがWindowsタブレットやタッチ対応デバイスにインストールできるように設計されています。これは、補完的なコンポーネントであり、[Windows](#)ストアからダウンロードすることができます。

注意： 先生アプリをインストールおよび使用の詳細については、[Windows 10先生アプリマニュアル](#)を参照してください。

シンプルで使い易さは、Teacherアプリの中心であり、コアな教室機能の多くは、新しく洗練されたインファーフエイで提供されます。

- 授業目標と成果の期待を表示
- 生徒の出席登録を収集
- 生徒のヘルプ依頼を監視
- 注目させるために生徒の画面をロックまたはブランク
- 生徒画面のサムネイルを監視
- 個々の生徒をリモートコントロール
- チャットとクラスにメッセージを送信
- インターネット利用の監視と制限
- アプリケーション利用（デスクトップおよびストア）の監視と制御
- 生徒の画面上にアプリケーションやウェブサイトを起動
- 授業終了時にアンケートを実施
- 進行状況を測定 - 相互および個別評価、得点など
- すべてまたは選択した生徒にドキュメントおよびリソースを転送



GOOGLE CHROMEでNETSUPPORT SCHOOLをインストールおよび構成する

NetSupport Schoolは、コンピューター主導の教育の効果を最大限にするために必要なツールを提供し、Google Chromebook環境でNetSupport Schoolのパワーを利用することができます。

The NetSupport Schoolの生徒appは、Google Chrome OSが動作している各生徒機にインストールすることができます。先生のマシン（WindowsまたはChrome OS）から、画面を監視し、迅速かつ効率的に各生徒と対話できるように各Chromebookのシステムに接続することができます。

インストールの準備

先生がChromebookを使用している生徒を監視し、対話するには、NetSupport SchoolネームサーバをWindowsサーバにインストールする必要があります。NetSupport School先生は、WindowsコンピュータまたはGoogle Chromeデバイスにインストールする必要があります。Google Chrome拡張用NetSupport School生徒は、各生徒のChromebookにインストールする必要があります。

注意 : Chrome用NetSupport School先生はGoogle Chromeの生徒だけ接続することができます。

Chrome用NetSupport School先生をインストールする

1. [Google Play store](#)からNetSupport School Chrome先生アプリをダウンロードします。
2. Chromeアプリ用NetSupport School先生の場所を指定して実行します。
3. NetSupport School Chrome 先生が開始し、ライセンス入力ダイアログが表示されます。
4. お手持ちのライセンス情報を入力してライセンスをクリックするか、30日間最大5生徒のChromebookを使用可能な試用をクリックします。
5. 接続ダイアログが表示されます。
6. ゲートウェイのアドレス、ポート番号そしてセキュリティキーを入力します。これはネームサーバーで設定されたものと同ーでなければなりません。
7. 部屋名、ユーザーモード、検索モード、PCモードまたはSISモードを使用してGoogle Chromeの生徒に接続するかどうかを選択します。

8. 接続をクリックします。

Chrome Studentに接続するようにNetSupport Schoolを設定する

1. コントロールのドロップダウンウィンドウから [スクール] [環境設定] を選びます。
2. ネットワークと無線の設定を選び、Chromebookを含むを選択します。
3. 設定をクリックします。
4. ゲートウェイのアドレス、ポート番号そしてセキュリティキーを入力します。これはネームサーバーで設定されたものと同一でなければなりません。
5. OKをクリックします。
6. 部屋モード、ユーザーモード、固定リストまたはSISモードで Google Chromeの生徒を検索できます。

ChromebookでNetSupport Schoolの生徒をインストールし設定する

1. Google Chrome ストア : <https://chrome.google.com/webstore>
NetSupport School Chrome 拡張をダウンロードします。
2. 「拡張」設定ページにアクセスするためのURL
`chrome://settings/extensions`を入力します。
3. Google Chrome 拡張用NetSupport School生徒の場所を指定し、オプションをクリックします。
4. ゲートウェイのアドレスとネーム/接続サーバのポート番号を入力します。
5. 部屋モードを使用して生徒に接続する場合は、どの部屋に生徒を割り当てるかを決めます。
6. 任意で、この生徒を識別する名前を入力します。
7. 必要な生徒の設定オプションを入力したら、パスワードを入力して設定を保護することをお勧めします。
8. 「保存」をクリックして設定を保存します。
9. 手動で各Chromebookを設定するよりも、保存されたオプションを使用する複数インストールは、Google管理コンソールで中央管理できます。設定を含む設定ファイルを作成するには、「ファイルにエクスポート」をクリックします。ファイルが生成される前に、オプションページでクライアント名とMACアドレスの欄への変更を許可するオプションがあります。デフォルトでは、生成されたファイルはこれらの2つの設定を無効にします。
10. 「ファイルの生成」をクリックします。デフォルトでは、ファイル名は「Config.json」になります。このファイルは、一元的に必要なデバイスにNetSupport School生徒の設定を適用するために、Google管理コンソールにアップロ



ードすることができます。サポートが必要な場合は、サポートチーム（英国）がお手伝いをします。

注意：生徒のインターネット使用を完全に把握できるようにするには、Google Apps for Education経由でChrome OSのユーザー設定でIncognitoモードを「禁止」することを推奨します。

NetSupport School Windows先生のインストール時に「Chrome生徒のみ」のライセンスタイプを選択した場合、先生はGoogle Chrome生徒用にサポートされている機能だけ表示します。

NetSupport先生（WindowsまたはChromeのOS）から、先生は生徒のChromebooksに次の機能を実行することができます：

- 単一のビューで各生徒機の透き通った縮小画面を表示する。
- 選択した生徒のChromebookを大きなサムネイルで表示するにはズームインします。
- 各生徒に簡単なアンケートや意見の依頼を送信しリアルタイムで結果を表示する。*
- リモートコントロール。生徒の画面を慎重に監視する（観察モード）だけでなく、リアルタイム・リモートコントロール（共有モード）で生徒のデスクトップを操作できるようになりました。必要に応じて生徒に1対1の補助と支援を提供するのに理想的です。*
- 各生徒マシンに注目度の高いメッセージまたは指示を送信します。*
- 先生の画面を表示。選択した生徒の画面に先生のデスクトップを「画面送信」で表示して生徒の関心と焦点を合わせます。*
- 選択した生徒にアプリケーションを表示。
- 許可されていないウェブサイトをブロックする。
- 許可されたウェブサイトだけを使用する。
- すべてのインターネットアクセスをブロックする。
- 生徒のChromebookでウェブサイトを起動する。*
- 生徒のChromebookのウェブサイトを閉じる。*
- FTPアクセスをブロックする。
- 生徒が現在閲覧しているウェブサイトの詳細を確認する。
- 各授業開始時に生徒に登録を要請する。
- 3種類のモードモバイルの生徒を管理できるように部屋で生徒をグループ化するための3種類のモード。

*Chrome用NetSupport

School先生を使用している場合、これらの機能は利用できません。

ANDROIDタブレット用NETSUPPORT SCHOOL の生徒のインストールと構成

コンピュータ主導の指導の効果を最大限に高めるために必要なツールを提供し、AndroidデバイスでNetSupport Schoolの電源機能を利用することができます。

Android用NetSupport School 生徒は各Androidタブレットにインストールすることができます。先生のデスクトップからは、迅速かつ効率的に各生徒との相互作用できるように各システムに接続することができます。

NetSupport Schoolの生徒アプリはAndroidタブレットで動作し、[Google Play](#)ストアから無料で入手可能です。

注意： Androidアプリ用NetSupport School先生は、お使いのAndroidデバイス上で使用することが可能です。インストールおよびこれの使用の詳細については、Android[先生マニュアル](#)を参照してください。

Androidタブレット用NetSupport School の生徒のセットアップと設定

デバイスからパスワード要求で保護された教室の接続設定で各デバイスを事前に設定するか、またはNetSupport School先生プログラム内から各デバイスに設定をプッシュすることができます：

1. コントロールのドロップダウンウィンドウから {学校} {タブレットは} {生徒設定の適用} を選択します。
2. 生徒の設定ダイアログが表示されます。
3. 設定を送信したい生徒を選びます。
4. 構成設定を変更するには「変更」をクリックします。
5. 生徒の設定変更ダイアログが表示されます。
6. 必要なオプションを設定して保存をクリックします。
7. Androidデバイス側で既にパスワードが設定されている場合は、それを入力します。
8. 送信をクリックします。
9. 部屋モードでAndroidの生徒を検索することができますようになります。

インストール中に「タブレット生徒のみ」のライセンスの種類を選択した場合、NetSupport School先生はタブレット生徒用にサポートされている機能だけを表示します。

注意: 特定の環境ではNetSupport School先生コンソールは、検索中にAndroidの生徒を見つけられない場合があります。Androidデバイスを見つけて接続する方法の詳細については、www.netsupportsoftware.com/supportにアクセスして、ナレッジベース内のテクニカルドキュメント「**開始時に先生コンソールの検索でAndroidの生徒が見つからない場合**」(ドキュメント番号738)を参照してください。

Androidでサポートしている機能:

- 生徒の登録。
- 授業の目標。
- 先生からのメッセージを受信。
- 生徒のヘルプ依頼。
- グループまたは1対1のチャット。
- 生徒アンケート。
- 生徒のコンピュータをロック/ロック解除。
- リアルタイムでの指示（画面送信モード）。
- 生徒の縮小画面を表示する*。
- 生徒の画面を観察する*。
- 生徒の報酬。
- WiFi/バッテリーの表示。
- 生徒側でURLを起動する。
- 生徒の画面をブランクにする。
- 質疑応答モード。
- ファイル転送。
- ファイル配布。
- スタートアップ時に起動します。デバイスの電源がオンになると、Android用NetSupport School生徒が起動し（デバイスが固定の部屋にある場合）自動的にサインインします。

*これらの機能は、製造元によって署名されたAndroidデバイス上でのみ使用できます。

IOS用NETSUPPORT SCHOOL 生徒のインストールと設定

コンピュータ主導の指導の効果を最大限に高めるために必要なツールを提供し、iOSデバイスでNetSupport Schoolの電源機能を利用することができます。

iOS用NetSupport School生徒は、各iOSデバイスにインストールすることができます。先生のデスクトップからは、迅速かつ効率的に各生徒との相互作用できるように各システムに接続することができます。

iOS用NetSupport School生徒アプリはiOS v6.0以降で動作し、iTunesストアで無料でご利用いただけます。

IOS用生徒のセットアップと設定

デバイスからパスワード要求で保護された教室の接続設定で各デバイスを事前に設定するか、またはNetSupport School先生プログラム内から各デバイスに設定をプッシュすることができます：

1. コントロールのドロップダウンウィンドウから {学校} {タブレットは} {生徒設定の適用} を選択します。
2. 生徒の設定ダイアログが表示されます。
3. 設定を送信したい生徒を選びます。
4. 構成設定を変更するには「変更」をクリックします。
5. 生徒の設定変更ダイアログが表示されます。
6. 必要なオプションを設定して保存をクリックします。
7. iOSデバイス側で既にパスワードが設定されている場合は、それを入力します。
8. 送信をクリックします。
9. 部屋モードでiOSの生徒を検索することができるようになります。

インストール中に「タブレット生徒のみ」のライセンスの種類を選択した場合、NetSupport School先生はタブレット生徒用にサポートされている機能だけを表示します。

iOSでサポートしている機能：

- 生徒の登録。
- 授業の目標。

- 先生からのメッセージを受信。
- 生徒のヘルプ依頼。
- グループまたは1対1のチャット。
- 生徒アンケート。
- リアルタイムでの指示（画面送信モード）。
- バッテリーの表示。



ご意見・ご感想

UK & インターナショナル

ホームページ: www.netsupportsoftware.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス (UK & アイルランド): sales@netsupportsoftware.co.uk

セールス (インターナショナル): sales@netsupportsoftware.com

北アメリカ

ホームページ: www.netsupport-inc.com

テクニカルサポート: support@netsupport-inc.com

セールス: sales@netsupport-inc.com

カナダ

ホームページ: www.netsupport-canada.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス: sales@netsupport-canada.com

ドイツ, オーストリア, スイス

ホームページ: www.pci-software.de

テクニカルサポート: support@pci-software.de

セールス: sales@pci-software.de

日本

ホームページ: www.netsupportjapan.com

テクニカルサポート: support@netsupportsoftware.com

セールス: sales@netsupportjapan.com